

スポーツ科学部 教育研究上の目的

スポーツ科学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野をスポーツ科学とし、当該分野における諸科学の総合的な教育研究を通じて、体育・スポーツ、スポーツと健康、スポーツと社会に関する専門的な知識とそれを応用する能力を涵養するとともに、幅広く深い教養と科学的根拠に基づく意思決定力及び豊かな人間性を兼ね備え、広く社会に貢献できる人材を養成する。

《スポーツ教育学科》

スポーツ教育学科は、スポーツと教育に関する知識を修得し、その知識を総合的に理解・応用することができる能力と、心身の発達段階に応じた実技指導能力及び生涯スポーツ社会における豊かなスポーツライフの実現に寄与できる能力を身につけた人材を養成する。

《競技スポーツ科学科》

競技スポーツ科学科は、スポーツ科学に関する知識を修得したうえで、競技パフォーマンス向上のためのトレーニング科学、及びコーチング科学に関する知識とそれを実践的場面で応用する技能を有した人材を養成する。

《スポーツ健康科学科》

スポーツ健康科学科は、スポーツと健康科学に関する専門的な知識を修得したうえで、健康づくり運動やレクリエーションスポーツの実践力や指導力を有した人材及び子どもから高齢者までのすべての国民の健康づくりをサポートすることができる能力を有した人材を養成する。

《トレーナー学科》

トレーナー学科は、運動による外傷や障害への対応に関する専門的な知識と、科学的根拠に基づいたトレーニング法や健康管理法を修得したうえで、スポーツをする全ての人の安全と安心を確保し、パフォーマンスの回復や向上を支援することができる能力を有した人材を養成する。

《スポーツマネジメント学科》

スポーツマネジメント学科は、スポーツに関する基礎知識に加えて、産業や経済、組織運営等について学ぶことにより、各種スポーツ関連施設をはじめ、幅広い領域のスポーツ組織（営利・非営利含む）の運営、及び関連産業・ビジネス分野において、高い実践力と行動力をもって活躍できる人材の養成を目的とする。